



About
SAKU

厚木市名誉市民

松川サクってこんな人



昭和を駆け抜けた女性実業家

会社を一代でトップメーカーへ

サクの生まれた明治から昭和にかけては、女性よりも男性が多く活躍した時代でした。そのような中でサクは、昭和19年に厚木市元町に「相模ゴム工業」を設立。多くの努力を重ねて、会社を一代でトップメーカーへと育て上げました。

女性の新しい生き方を提案

サクの生きた時代には、「女性は結婚して子どもを産むのが役割。勉強なんてなくていい」と考える人が多く

いました。今とは全く違う価値観の中で、サクは「子どもを産むか産まないかは自分で決めること」と考え、女性を守るための避妊具を作って広めることに力を注ぎました。避妊具は後に、エイズの予防にも力を発揮しました。

女性の地位向上にも貢献

活動的なサクは、多方面でも活躍しました。女性の地位向上を目指すボランティア組織の日本クラブ会長や商工会議所の婦人会長などを歴任。昭和60年には、地元への貢献が評価され、名誉市民にも選ばれました。

Saku Matsukawa

厚木市
名誉市民

松川 サク

明治25年3月19日 - 昭和61年11月29日

「科学や発明に興味を持った若者を育てたい」。松川サク工業振興基金は、サクさんの遺言による寄付金で創設されました。

